

OFICON global entertainment

2002年3月期 中間決算説明会

オリコン・グローバルエンタテインメント株式会社

証券コード: 4800 (NASDAQ Japan)

http://www.oriconge.jp/

会社概要



コーポレートガバナンス機能の

充実と経営陣の一層の強化を

■ 設立: 1999年10月1日 (株式上場:ナスダック・ジャパン市場 2000年11月6日)

事業内容: 音楽楽曲データベース事業、携帯端末へのコンテンツ提供(デジタルコンテンツ)事業

■ **発行済株式数**: 26,188株 (2001年6月29日現在) (株主数:1,278名 2001年9月30日現在)

■ 資本金: 1,046,750千円 (2000年11月6日現在)

■ 関連会社: (株)オリコン、(株)トリームスピナース、Oricon DD Korea、Oricon DD Taiwan (2001年9月30日現在)

■ 代表取締役 代表取締役社長

および社外取締役: 兼 ㈱オリコン代表取締役会長 小池 恒

取締役(非常勤) 角川 歴彦(現・角川書店社長)

取締役(非常勤) 町井 徹郎(元・東芝副社長、現・東芝常任顧問兼モバイル放送社長)

取締役(非常勤) 松尾 修吾(元・ソニー・ミュージックエンタテインメント社長,会長、レコート、協会会長)

取締役(非常勤) 早川 吉春(元・中央監査法人代表社員)

■ 従業員数: 37名(他にアルバイト23名、役員除き)

■ 主要取引銀行: 三井住友(新橋)、一勧(六本木)、とみん(本店)、東海(赤坂)、東京三菱(六本木)

■ 主幹事証券: 新光証券(担当:デジタル情報産業部)

角川書店、東芝、電通、徳間書店、ヤフー、ソフトバンク・ファイナンス、

NTTーX(ポータルサイトgooの運営会社)

(2001年9月30日現在)

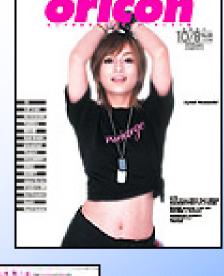
株主優待制度新設



- ・毎年3月31日、9月30日現在の株主(および実質株主)に対して、
 - ①「音楽ギフトカード」を贈呈。

(10株未満の株主:1000円相当分、10株以上の株主:3000円相当分)

- ②当社子会社㈱オリコン発行のアーティスト誌「weekly oricon」を1冊贈呈。
- ・実施時期 平成13年9月30日現在の株主(および実質株主)より









第3期中間決算 連結P/L

(2001年4月1日~9月30日)



(単位:千円)	GE単体 4/1/01~ 9/30/01	オリコン 7/1/01~ 9/30/01 (3ヶ月間)	ト*リーム スピ*ナース* 4/1/01~ 9/30/01	海外現法 4/1/01~ 9/30/01	連結手続 に伴う 内部取引 控除	連結
売上高	802,446	443,147	115,886	4,493	▲10,789	1,355,184
売上原価	430,160	257,468	81,802	1,699	▲8,320	762,809
差引売上総利益	372,286	175,147	33,995	2,794	▲2,467	581,755
販管費	196,898	120,203	42,387	16,714	▲2,480	373,508
営業利益	175,387	54,943	▲8,391	▲13,920	228	208,247
営業外損益	2,171	▲6,203	2,517	▲ 1,639	▲ 1,875	▲ 5,029
経常利益	177,559	48,739	▲ 5,874	▲15,559	▲ 1,875	203,218
特別損益	▲68,194	▲852	115	_	▲1,367,385	▲1,436,317
当期利益	60,960	47,837	▲ 5,995	▲ 15,565		▲848,690

第3期中間決算 P/L (GE単体)

(2001年4月1日~9月30日)



(単位:千円)	3期中間 4/1/01~ 9/30/01	(比率)	対前年 中間期 比率	2期中間 4/1/00~ 9/30/00	(比率)	2期通期 4/1/00~ 3/31/01	主要因
売上高	802,446	100%	376.4%	213,208	100%	627,556	売上高計上基準変更
データベース事業	156,652	19.5%	126.5%	123,806	58.1%	273,629	EC部門ランニングフィー増加
デジタルコンテンツ事業	623,793	77.7%	805.9%	77,402	36.3%	327,741	有料会員大幅増加
その他	22,000	2.7%	183.3%	12,000	5.6%	26,186	CLUBイベント売上等
売上原価	430,160	53.6%	614.4%	70,016	32.8%	253,056	
売上総利益	372,287	46.4%	260.0%	143,192	67.2%	374,499	
販管費	196,898	24.5%	199.6%	98,646	46.3%	236,767	
人件費	101,554	12.7%	165.9%	61,217	28.7%	134,707	DC部門人員増強
販売費	37,511	4.7%	662.7%	5,660	2.7%	23,565	広告宣伝費増加
管理費	57,833	7.2%	182.0%	31,769	14.9%	78,495	
営業利益	175,387	21.9%	393.7%	44,546	20.9%	137,731	
営業外損益	2,171			▲ 2,864		▲ 15,330	主にオリコンへの貸付利息
経常利益	177,559	22.1%	426.0%	41,682	19.5%	122,402	
特別損失	▲68,194						投資有価証券評価損等
当期利益	60,960	7.6%	259.2%	23,517	11.0%	65,157	

第3期中間決算 B/S (GE単体)

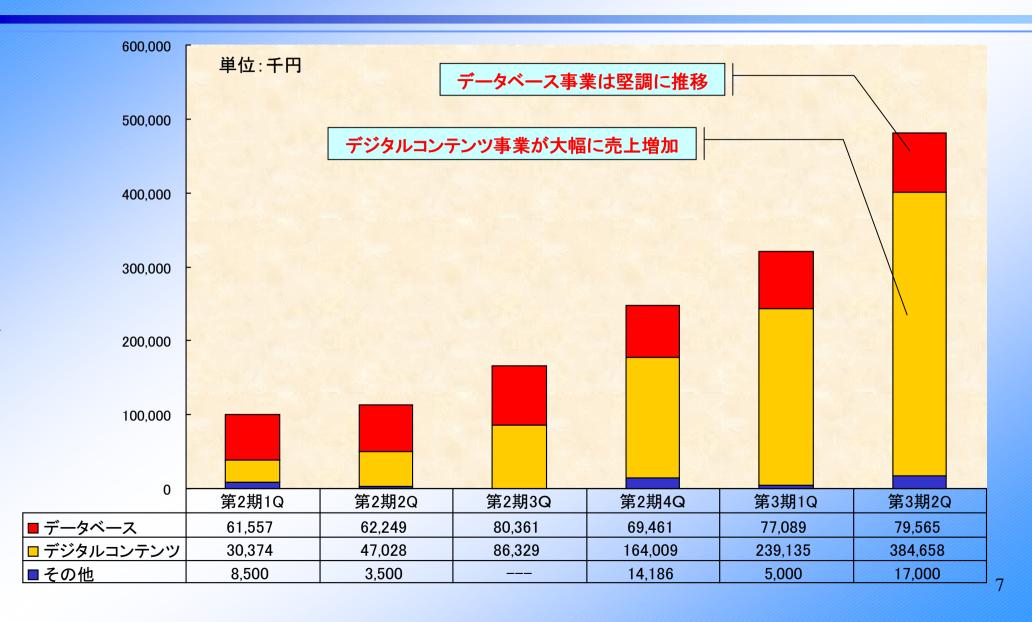
(2001年4月1日~9月30日)



科目	金額(千円)		期末にオリコン貸付	科目	金額(千円)	
流動資産 計	2,471,957		金の一時返済あった ため、預金残が膨ら	流動負債 計	1,032,967	
現金及び預金	1,331,631		んだもの	買掛金	142,381	/ オリコン転貸分
売掛金・手形	478,129	_	MMF等の短期運用	短期借入金	740,000 /	
有価証券	200,534	/	商品のみ	固定負債 計	227,796	
短期貸付金	394,056		主に(株)オリコンへの	長期借入金	190,000/	オリコン転貸分
固定資産 計	867,870		貸付金	上	130,0007	
有形固定資産	96,228		主にコンテンツ配信	負債合計	1,260,764	
1,111,111	·	/	関係のソフトウェア	資本金	1,046,750	
無形固定資産	195,260 /			法定準備金	902,150	
投資その他の資産	576,381	_	2.4.64.4.1.4.E.D.1.4	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	302,130	
	261,003		うち約1.1億円は 投信等の運用商品	その他の剰余金	129,527	
	210,000		(株)オリコンと(株)ドリー	資本合計	2,079,063	
総資産	3,339,827		ムスピナーズ株式	負債+資本	3,339,827	6

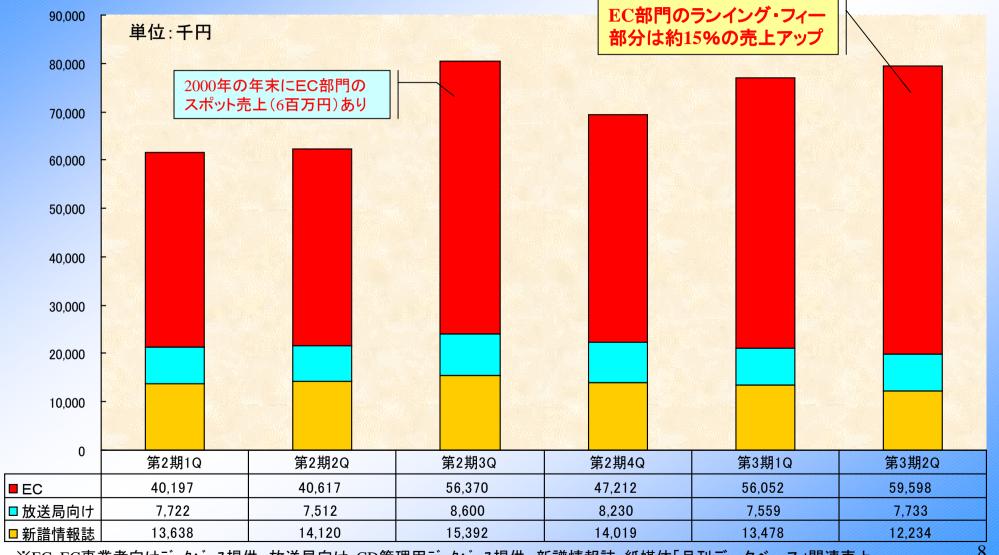
セグメント情報(売上高ーGE単体ー)





セグメント情報 (データベース事業・売上高-GE単体一)

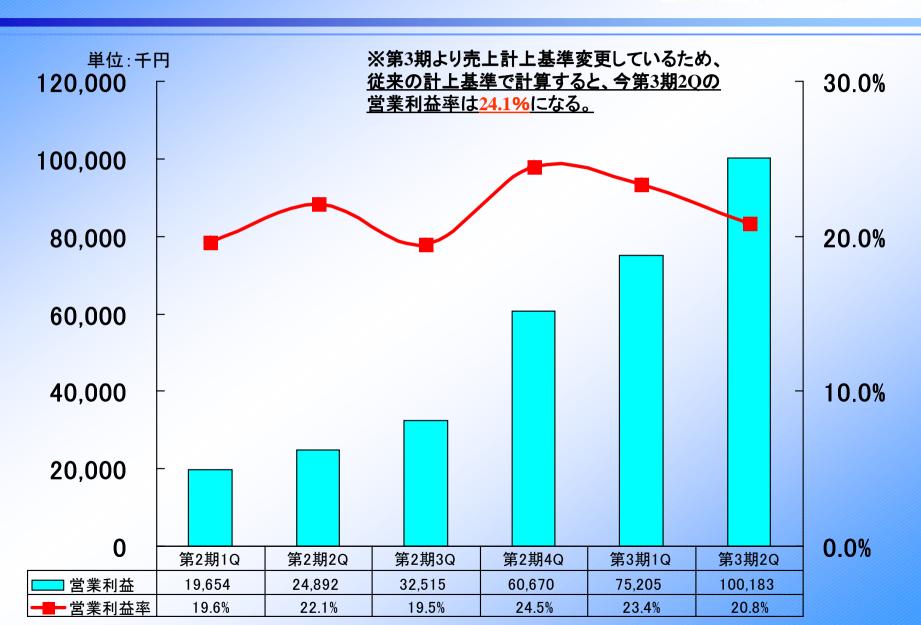




※EC:EC事業者向けデータベース提供、放送局向け:CD管理用データベース提供、新譜情報誌:紙媒体「月刊データベース」関連売上

営業利益(GE単体)の推移





売上原価と販管費の構成 (GE単体)

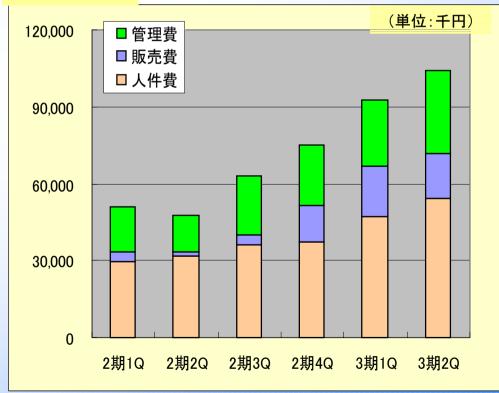


売上原価構成



着メロの売上増に比例して、変動費処理のMIDI音源外注制作費、著作権料支払が増えるが、携帯部門は粗利約42%を確保。

販管費構成



「データベース」 Eコマース分野での主要取引先





ジェイブック、ヤフー、HMVジャパン、電通、新星堂、デジキューブ、マイクロソフト、ライコスジャパン、日本テレコム、NTTコミュニケーションズ、NTT PCコミュニケーションズ、ソニー、@ニフティ、サイバーウィング、ミュージックスター社、旭屋書店、日本レコード販売網、オムロン、石丸電気、東芝 iバリュークリエーション社、ネオ・ウィング、日本ソフトサービス、第一興商、リクルート(ISIZE)、エキサイト、ジャパンディストリビューションシステム、凸版印刷、 ネットコンテンツ、ハドソン、Amazon.co.ip、インプレスコミュニケーションズ、スペースシャワーネットワーク 他 (2001年9月末現在) 11

「デジダルコンテンツ」 有料登録者総数

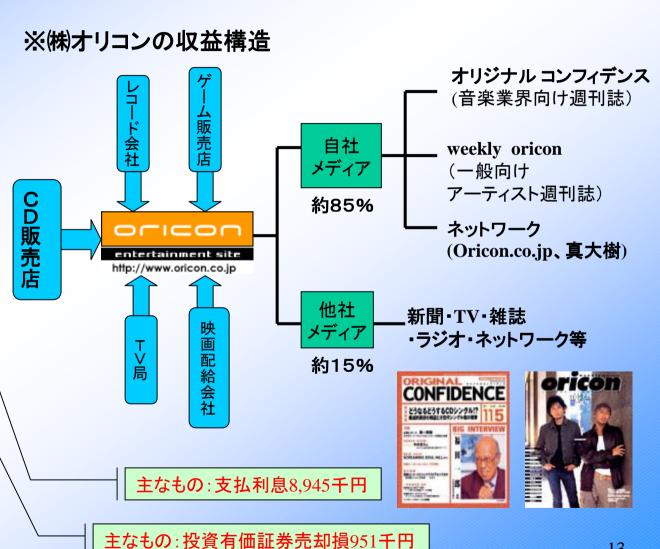




(株)オリコン単体P/L (2001年7月1日~9月30日・3ヶ月間)



単位:千円	金額
売上高	443,147
売上原価	257,468
売上総利益	185,678
返品調整引当金戻入額	24,813
返品調整引当金繰入額	▲35,344
差引売上総利益	175,147
販管費	120,203
営業利益	54,943
営業外損益	▲ 6,203 _\
経常利益	48,739
特別損益	▲ 852 ∖
当期利益	47,837
前期繰越利益	▲1,432,648
当期未処分利益	▲1,384,811



(株)オリコン単体B/S (2001年9月30日現在)



科目	金額(千円)	科目	金額(千円)
流動資産 計	656,866	流動負債 計	1,929,475
現金及び預金	216,688	支払手形	196,481
売掛金・手形	331,154	買掛金	49,873
短期貸付金	43,115	短期借入金+1年以	1,146,576
固定資産 計	171,066	内返済長期借入金	
有形固定資産	87,724	固定負債計	118,299
無形固定資産	2,847	長期借入金	112,860 /
投資その他の資産	80,493	負債合計	2,047,774
投資有価証券	27,288	資本金	100,000
保険積立金	26,703	剰余金	▲1,319,333
敷金	24,026	資本合計	▲1,219,842
総資産	827,932	負債+資本	827,932





GE貸付 344百万円 小池恒個人貸付 800百万円 銀行借入 115百万円

資本金の推移 (単位:百万円)

2001年6月 320→10 (減資) 2001年7月 10→110 (オリコンGEの資本参加) 2001年8月 110→100 (オリコンGEの100%子会社化)







経営方針





当社は、日本をはじめ全アジアの音楽業界の発展に貢献する。

そのためにマーケティング活動を行い、権利者にもビジネスチャンスがあるよう配慮する。 そして、「オリコン」ブランドのもとに音楽情報を 集約することを目指す。

「データベース」試聴音源の付加





試聴音源の提供がなかったことが原因



検索性の高いデータベース

試聴音源



EC



(株)ジャパン・ミュージック・データとの提携 (ジャケット写真、試聴音源のデータベース)

※㈱ジャパン・ミュージック・データは、(社)日本レコード協会加盟レコード会社の賛同、協力を得て設立された会社で、オーディオ・ビデオ・ゲームソフト等の商品カタログデータの提供及び試聴音源並びにジャケット写真等のプロモーション音楽情報データを提供し、販売促進に寄与する事を事業目的としています。

「デジタルコンテンツ」 主カプログラム"HITNEXT" | | | | |



ORICON HITNEXT (総合音楽サイト)

着信メロディ

音楽情報



プ゚レミアム、キャンペーン中。

- ロメールマガジン登録 上アドレス変更
- ▼アーティスト*の*ン情報励ま **--**アーティストサイト
- ┗─/羊楽アーティストサイト
- ▼30代以上に捧ぐ **」**はよかアーティフトサイト
- □ORICONI)など情報
- □CLOSE UPアーティスト

HITNEXTココから HENTER

♣ORICON CLUBBER

のご利用案内

✓ 新譜リリース情報やライブ情報を始めアーティスト中心の情報から 総合エンターテインメント情報まで、毎日配信。

- ✓ 人気アーティストの個人ページ(所属事務所とのタイアップ)を サイト内に展開
- ✓ CDのリリース前に着信メロディの先行配信 (レコードメーカーとのタイアップ企画)

EZweb「着信メロディ」カテゴリー No.1! J-Sky「着メロ/J-POP・洋楽」カテゴリー No.1!











「デジタルコンテンツ」「着メロ」と「音楽配信」



10

※音楽配信(1曲3分)にかかる通信料と時間 (平成13年9月4日付日経新聞朝刊の記事より)

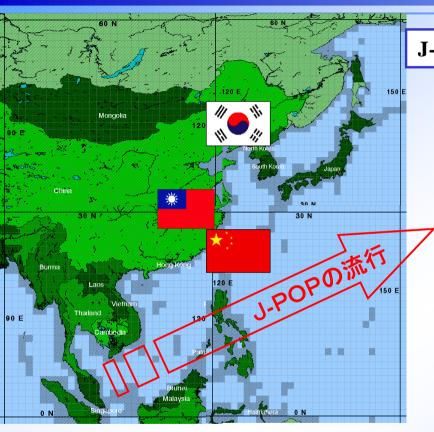
<u> ドコモ・FOMA (パケット通信) 460円/約7分半</u>

・音楽1曲(3分間)=約23000パケットとして、パケット通信料が最も安いFOMAパケットパック80(1パケット0.02円)での計算。



アジア戦略







J-POPの着メロ配信

(5月より台湾・韓国、9月末より香港でも開始。)

日本国内での着メロ事業と違い、権利許諾が難しい。 J-POP着メロの使用曲は、曲の版権を管理する音楽出版社 を一社、一社まわって許諾を得たもの。

- → これが可能になったのは、音楽業界において「オリコン」 が信頼され、評価されているから。
- → 他にJ-POP着メロを実際に行っているのは、ヤマハだけ。 ヤマハは自らの系列の音楽出版社が版権管理している 楽曲を使用。
- → 今後、現地音楽の着メロ配信や台湾・韓国・香港での
 J-POP着メロを配信するキャリアの増加を予定。
- ★ 今後、和音端末の普及による需要増を見込む。

現地でのオリコンチャート立上げ

台湾、韓国で準備中。

現地での「オリコン」番組立上げ

台湾でラジオ、TVスタート(ロイヤリティ・ビジネス)

オリコン 今後の動き





12 8

Gackt











【今後計画している新規事業】 ーソフト・ファイナンス&インキュヘート事業



- •「ソフト評価ビジネス」の応用・発展形
- ・評価、相談に来るコンテンツの中から オリコンの「評価」によりピックアップし、 「One Source, Multi Use」の考え方から発展させる

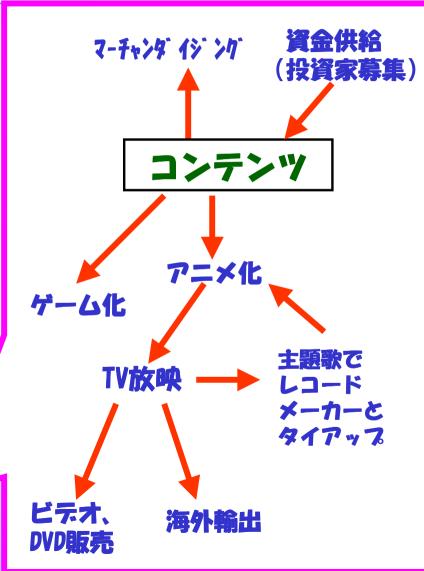
ソフト(コンテンツ)を孵化させ、 必要なら資金を供給(投資家募集)し、 大きな広がりを持つプロジェクトとして オリコン(グループ)がコーディネートする事業





トータルに コーディネート、 プロデュースする





Eコマース市場成長予測



電子商取引推進協議会&アクセンチュア 2001年1月31日発表資料より

